

令和八年 第二回

七宝会公演

雪と散れ桜子
雲となれ櫻子
花は根にかえれ

花咲ば
告げんといひし
山里の

◆ 5月30日(土) 12時半開演

◆ 枚方市

総合文化芸術センター本館

関西医大小ホール

能 「三山」 山内 崇生

狂言 「仏師」 善竹彌五郎

能 「鞍馬天狗」 辰巳 孝弥

最も古典にして、
最もアヴァンギャルドな芸能
能楽をみなごまに

七宝会
宝生流

主催/公益財団法人友愛会

令和八年 第二回 七宝会公演



七宝会

【番組】

能 「三山」

桂 子山内 崇生 笛 森田 啓子
 桜 子朝倉 大輔 小鼓 成田 達志
 良忍上人 福王 和幸 大鼓 森山 泰幸
 所の者 善竹 隆司

狂言 「仏師」

すっぱ 善竹彌五郎 田舎者 小西 玲央

能 「鞍馬天狗」

山伏 辰巳 孝弥 東谷の僧 福王 和幸 笛 貞光 智宣
 大天狗 辰巳 孝弥 能 力善竹 隆平 小鼓 成田 奏
 牛 若 辰巳紫央莉
 花見児 瀧本 莉子 木葉天狗 小西 玲央 大鼓 守家 由訓
 花見児 瀧本 紗蘭 木葉天狗 上吉川 徹 太鼓 中田 弘美
 花見児 辰巳虎志朗
 花見児 廣瀬 雨堂
 花見児 辰巳叶和子

- ◆日時 令和八年五月三〇日(土) 十二時半開演(十二時開場)
- ◆会場 枚方市総合文化芸術センター本館 関西医大 小ホール
- ◆料金 指定席 5,000円 自由席 3,500円 学生 2,000円

◆スマホde解説

「衆我財団」様の支援事業として、お客様ご自身のスマホをお使いいただき、ご自身のイヤホンで解説をお聴きいただけるサービス提供が始まりました。ご希望の方はスマホとイヤホンをご持参のうえ、ご体験くださいませ。

【解説】

◇ 能 「三山」 みつやま
 念仏の教えを弘めるべく、大和を訪れた良忍上人。彼が名所・大和三山のひとつつ耳成山に向かうと、一人の女が現れる。聞けば、この大和三山には、ある昔物語が伝わっていた。それは、耳成の里の女・桂子と、畝傍の里の女・桜子とが、香具山の男を巡って争い、恋に敗れた桂子は耳成池に入水したというもの。そう明かした女は、自分こそその桂子の霊だと明かすと、耳成池の水底へ姿を消すのだった。その夜、良忍が三山の故事を偲んでいると、桜子の霊が現れる。耳成の山風に吹き揉まれ、苦しんでいると訴える桜子。するとそこへ、例の桂子の幽霊が姿を現した。恨みの言葉述べつつ、桂子の枝で桜子を打ち据える桂子。しかし桜子もまた、負けじと桜の枝で対抗する。そうする内に夜は明け、二人は消えてゆくのがあった。

◇ 狂言 「仏師」 ぶっし

田舎に住むある男が一間四面の御堂を建てたので、本尊にする仏像を求めに都にやってくる。仏師(仏像を彫る人)がどこに居るか、またどういう人かも分からないため、大声で呼び仏師を探す。するとそこへ、すっぱ(詐欺師)が近づき男に声をかけ、自分こそが仏師だと嘘をつき、翌日までに仏像を作ると言う。約束の時間になり、男が仏像の受け渡し場所へ行くと、立派な仏像があるので、喜んだ男はさっそく仏像を拜むが、どこにも印相が気に入らない。仏師を呼んで直してもらおうとするが…。

◇ 能 「鞍馬天狗」 くらまてんぐ

鞍馬寺の僧が稚児達を連れ、花見をしていると、一人の山伏が入り込んできた。すっきり興奮めとなった一同は本坊へ帰ってゆくが、一人の稚児だけは、その場に留まり続けた。稚児は山伏へ声をかけ、ともに花を眺めようと言う。実は彼こそ、平治の乱で敗れた源義朝の子・牛若丸。平清盛の子弟にあたる他の稚児達から迫害され、不遇の日々を送っていたのだった。山伏は、そんな彼を不憫がり、花咲く山々へと案内する。やがて山伏は、自らをこの山に棲む大天狗だと明かすと、後日の再会を約束して姿を消すのだった。翌日、武芸に励む牛若の前に、大天狗が真の姿を現した。大天狗は、自分を師匠と仰ぎ慕ってくれる牛若に感心し、兵法の奥義を伝授する。大天狗は、武門に名高い清和源氏の血を引く牛若を讃え、やがて平家を滅ぼすことが叶うだろうと予言すると、これから彼の活躍を見守り続けることを約束し、別れを惜しみつつ去ってゆくのがあった。

◆令和八年 七宝会年間会員について

- 年会費 13,000円
- 年間4公演のうち、普及公演を除く3公演の指定席代金15,000円を13,000円でご提供いたします。
- 発売・予約開始は、会員は60日前(一般は50日前より)。
- 年度途中からでも会員にお申し込みいただけます。

宝生流 七宝会

〒572-0009

大阪府寝屋川市末広町11-8 辰巳方

TEL 072-831-3206

FAX 072-832-5115



枚方市総合文化芸術センター 本館
 関西医大 小ホール
 大阪府枚方市新町2-1-60

京阪電車「枚方市」駅から徒歩約5分

